

# ADX12/18 Condenser Microphones

## OVERVIEW

ADX12/ADX18 は、プレゼンテーション・ミーティングに最適な小型のグースネック・コンデンサーマイクロホンです。

プリアンプ回路を内蔵し、18-52V のファンタム電源で動作します。

カーディオイドの指向性により室内の雑音を抑えます。また、40Hz-18kHz の周波数特性を持ち、ナチュラルでクリーンな音声を提供します。

スイッチ付き卓上ベース ATS10/ATS1 と組み合わせて使用できます。また、埋め込み設置には汎用のフランジ型 XLR レセプタクルもしくは付属のテーブルマウント、別売ショックマウント付きマウントで固定することが可能です。

マイクカプセルは真鍮削り出しボディで耐久性に優れ、また交換も可能です。

## モデル

ADX12	40.3cm グースネックマイク、カーディオイド
ADX18	55.8cm グースネックマイク、カーディオイド

## 付属品

TM1218	テーブルマウント
WS1218	ウィンドスクリーン

## 別売オプション

ATS1	スイッチ付きマイクスタンド
ATS1LX	スイッチ付きマイクスタンド、外部ロジックモード搭載
ATS10	スイッチ付きマイクスタンド、ラッチ式
APS2	ファンタムパワーサプライ、2ch

## 交換用パーツ

CPST12	マイクカプセル、カーディオイド、ブラック
--------	----------------------



## 特長

- ・ ナチュラルで正確なサウンド
- ・ ローノイズ
- ・ カーディオイド極性パターン
- ・ ロープロファイルデザイン
- ・ ダブルフレキ機構
- ・ マイクカプセル交換可能
- ・ 米国にて設計、組み立て、製造、テスト

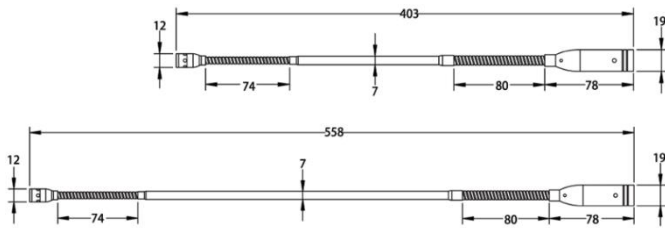
## アプリケーション

- ・ 講壇、演台
- ・ 会議、リモート会議
- ・ 録画、録音
- ・ ルームセキュリティ、モニタリング

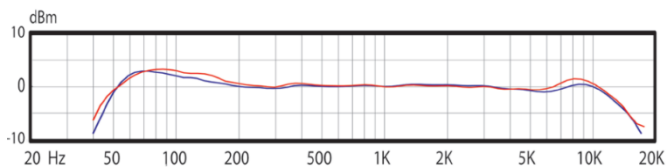
## 仕様

トランスデューサー	プレポラライズド・コンデンサー型
周波数特性	40 Hz - 18 kHz
指向性	カーディオイド
出力インピーダンス	150 ohms
感度	24 mV/Pa @ 1k (C)
ノイズレベル	28 dB (A weighted)
SN 比	66 dB
最大 SPL	≧120dB
ファンタム電源	18-52V
コネクタ	3-pin XLRm
極性	1 : GND 2 : ホット 3 : コールド
材質、塗装	アルミニウム、ブラックフィニッシュ
重量	113 g (ADX12) 159 g (ADX18)
寸法	403 mm (ADX12) 558 mm (ADX18)

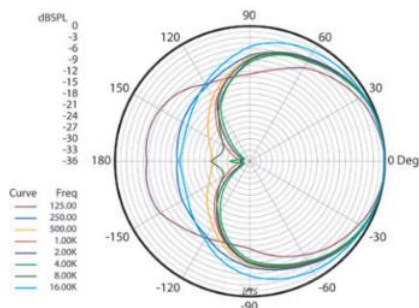
## 寸法(mm)



## 周波数特性



## 指向特性



## ARCHITECT AND ENGINEER SPECIFICATIONS

マイクロホンは、カーディオイドの極性パターンで利用可能なモジュラー・スレッド・カプセルを備えたコンデンサータイプであること。

ベース部は雄の XLR プラグで終端すること。

18~52V のファンタム電源で動作すること。

マイクロホンの感度は 24mV/Pa、公称出力インピーダンスは 1kHz で 150Ω であること。マイクロホンの最大 SPL レベルは 120dB 以上で、アルミニウムチューブ、真鍮製の金具、コイル状のスチール製グースネック材で製作されていること。マイクロホンカプセルは 12mm で、長さは 403mm と 558mm の 2 種類であること。

## OPERATION AND MAINTENANCE

**距離と角度：**2 箇所のフレキシブル部分を調節して、ユーザーの身長や話し方に合わせてマイクを配置してください。一般的には、マイクの角度は話し手に対して 60-75 度、口元から 30-40 センチ離して使用するのが理想的です。

音を大きくしたい場合や声が弱い場合は多少マイクに近づいても構いませんが、マイクエレメントに近づきすぎないようにしてください。

**ウィンドスクリーン：**付属のウィンドスクリーンを使用して、ポップノイズやプレスノイズを最小限に抑えます。プレスノイズやポップノイズが多いと思われる場合は、マイクから離れるか、直接マイクに向けずに、マイクの上に向かって発話してください。

**テーブルスタンドと使用する場合：**オプションでヘビーデューティーの卓上スタンド (ATS1、ATS1LX、ATS10) をご用意しています。スタンド上部のコネクタにマイクを直接差し込んで使用します。

機器との接続には標準的な XLR マイクケーブルを使用します。マイクケーブルはベースの背面に接続し、ミキサーや録音機器のマイクレベル入力に接続します。

動作にはファンタム電源が必要です。

卓上ベースには、ノイズレスのオンオフスイッチが設置されています。マイクがオンになると、LED インジケータランプが点灯します。押すたびオンとオフが切り替わります。

